

KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB



鹿児島2017
ワイズメンズクラブ

No. 326

8月号

国際会長	Henry Grindheim [ノルウェー]	"Let us walk in the Light - together." 「ともに、光の中を歩こう」
アジア会長	Tung Ming Hsiao [台湾]	"Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事	大野 勉 [神戸ポート]	"Healthy mind & healthy body make healthy club" 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
九州部部长	小田 哲也 [福岡中央]	"Enhancement and activation of each clubs throw interesting various activities." — Healthy Clubs make Happy and Strong Kyushu Region! — 「多様な活動で各クラブの充実と活性化を!~健康なクラブが九州の元気をつくる~」

2017 2018 鹿児島クラブ会長: 坂口 松平『楽しい奉仕。楽しい談話。』



7月キックオフ例会の報告

2016-17年度 通常総会報告

日時: 7月25日例会中

議長(坂口)、書記(松永)選出の後、定数の確認を行い、当日の総会の成立を確認。

1. 第一号議案

1. 2016-17年度事業報告
 2. 2016-17年度事業決算報告
 3. 2016-17年度監査報告
- 第一号議案は、満場一致で可決。

2. 第二号議案

1. 2017-18年度事業計画案
2. 2017-18年度事業予算案

3. 2017-18予算案の修正が必要との意見が出たため、8月7日企画例会で修正の上、再決議する旨を決定。

日時: 8月7日企画例会中

1. 2017-18年度事業計画案
2. 2017-18年度事業予算案

1. 活動予定表において、今年度はメネット企画例会は開催されないこと。6月に総会を開催すること。の2点を修正の上可決。
2. 繰越金を計上すること。予備費を減額すること。会員活動支援金(旧交通費)を新設し、会議参加費を統合すること。を修正の上可決。

鹿児島ワイズメンズクラブ会長: 坂口 松平



▲坂口会長所信表明挨拶



▲例会のようす

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

「楽しい奉仕。楽しい談話。」

2017-2018年度の主題は、「楽しい奉仕。楽しい談話。」としてスタートしましたが、最初の例会中の総会で私の準備不足のため予定の時間に終了できず、また、議案も一部持ち越しとなり会員の皆様には第一回目から楽しくない例会としてしまい、たいへん申し訳なく思っております。これを教訓に致したいと思っております。

8月の例会は、まだまだ灼熱の中、小田九州部長をお迎えして、ご自身が運営されているフリースクールについての卓話をお聞きます。NPOの運営で毎日ご多忙の身でありながら、今年度の九州部長を引き受けられたことに対し敬意を表します。

さて、今月は、1924年ベネチア生まれのフランコ・バザーリアをご紹介します。精神保健福祉の分野では歴史に残る「戦う精神科医」と呼ばれた人です。

「自由こそ治療だ」。彼は、精神障がい者の隔離収容が当たり前だった時代に、精神科病院こそが心の病を悪化させる根源と考え、心病む人が自由を取り戻すことが何よりの治療法だと主張しました。

それから、彼の「戦い」が始まりますが、イタリア社会は彼の主張を最終的には受け入れました。

1978年、イタリア国会は「バザーリア法」として知られる法律180号を可決しました。公立精神病院を徐々に閉鎖し、代替りの医療サービスを地域のなかに構築することを定めた画期的な法律でした。(バザーリアは、その2年後の8月に脳腫瘍のため死去)

それから約20年度の1999年、政府は全国の公立精神病院の閉鎖を公式に発表しました。2001年、WHOの精神保健デーには、精神科病院を克服し地域密着型のサービス網を構築する重要な一歩を刻んだとして、イタリアの改革に高い評価が与えられました。

お国柄の違いと言ってはそれまでですが、残念ながら我が国の精神科病床の数は、OECD加盟国の中で最高で、平均の約4倍に上ります。特に鹿児島県は、全国一位ですから、先進国で最も精神科病床数が多い地域ということになります。日本のバザーリアが生まれるような社会になってもらいたいと思っています。

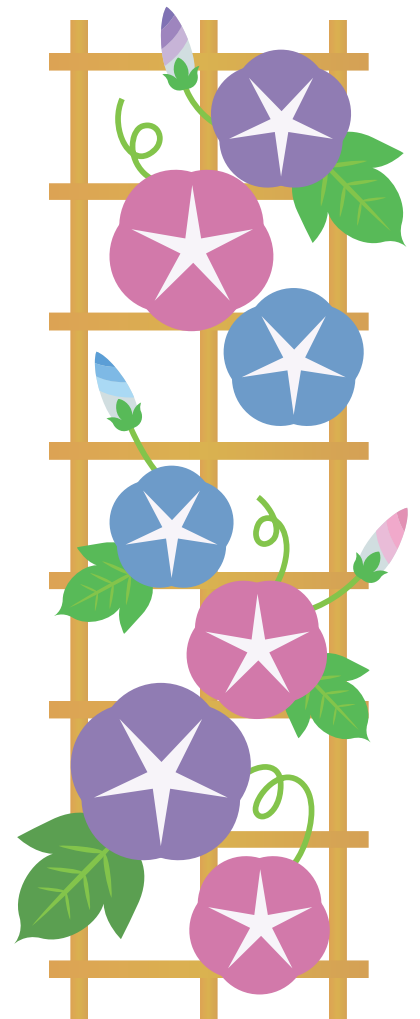
2022年に向けて

「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
"Healthy mind & healthy body make healthy club"

暑中お見舞申し上げます

梅雨明けとはいうものの、すっきりしない天候が続きます。猛暑日のところもあれば、これまでにない豪雨に見舞われたところもあります。被災して不自由な生活を強いられる人もいれば、同じ質問に対して、これまた同じ回答に時間をかける人もいます。一方で、子供たちは、夏にしかできない貴重な体験を求めて、本を読んだり、野や山に出かけたり、プール水泳に励んだり、夏休みを有意義に過ごそうと懸命です。

私たち大人も、今しかできない貴重な体験を、日々重ねていきたいものです。





八月十五日に思う

八月になると戦争と平和に関する報道が多くなる。あの時代を過した人々にとって、体験の差こそあれ、一生忘れられない思いが残っているであろう。

私は当時小学校四年生であった。あの時から七十二年も経過しているが、子供心ながら記憶から消し去ることは出来ない。戦争の最中、幸運にも満州から帰国し、郷里で両親は先祖が残した田畑で不慣れな農業をしていた。

八月十五日は、我が家にラジオはあったが玉音放送は聞いてなかった。なぜか両親とも無口で何も語らなかった。皆が日本は戦争に負けたと言い出したが、あり得ないことで嘘だと思っていた。嘘ではないと悟るには、たいして時間は必要としなかった。夕方になると家畜を殺しはじめた。家畜の頭部に振り下ろされる斧、その悲壮な鳴き声は村中に響きわたり、私は耳を塞ぎ自分が泣いてしまった。

戦争に負けた事より家畜の哀れさに泣いてしまった。農家にとって、あれほど大切にしてきた家畜を殺すとは、きっとこの世の終わりがきたのだと思った。

「戦争に負けたことは、この世の終わりなのか」と、子供なりに死について考えたが、それは幼稚なものでしかなかった。

戦争に負けて、明日からどのような事になるのか、誰も予想できる人がいなかった。

やがて、アメリカ軍が上陸してくるとの噂が広がり、村人は荷車に食料を積み、山奥へと移動し始めた。だが、父だけは平然としていた。逃げることを必死に訴えたが相手にされなかった。「逃げられる所など無い」が理由であった。

人が居なくなった村は静かで、波の音だけが迫ってくる。夜になっても眠れません。波の音の中からアメリカ兵がザワザワと上陸してくる光景が頭から離れないのです。やっと夜が明け、私は一人で海岸を偵察に行った。そこは見慣れたいつもの風景で、照りつける真夏の太陽、紺碧の海と青い空、それは平和そのものであった。海には一隻の船も、空には一機の飛行機も見当たらない事が、戦争が終わったことを証明しているかのようであった。

毎朝、開聞岳の上空に見たB-29の編隊も今日は見えない。

山奥に避難した人達も、山の環境に耐えきれず帰宅し始めた。どうしようもない不安を抱きつつ農作業へと復帰するしかなかった。

良い事など何も無い時代であったが、驚くべき出来事もあった。骨（こつ）もない息子の戦死を知らされ、この前葬式を出したばかりの息子が、ポロボロの軍服姿で突然帰ってきた。両親の驚きと喜びは計り知れないものであっただろう。

この出来事は戦死者を出している多くの家庭に一筋の希望を与えたが、はかない希望であり、かえって遺族の心を苦しめることとなった。

やがて夏休みも終わり二学期が始まった、先生方の落ち込みは大きく、授業の仕方が分らなかった。担任の先生は拳をふりあげ涙ながらに絶叫した「この恨みを忘れてはならない、これで終わったのではない、子々孫々まで忘れるな」。でも、私は終わりだと思った。

鹿児島ワイズメンズクラブ：神村 浩



サルズベリ (百日紅)

「さるすべり」は夏の花である。暑い夏に真っ赤な暑苦しい花を咲かせるが、その力強さに圧倒される。最近では白いサルズベリを植える家も増えてきた。木の幹はいかにもツルツルで猿でも滑りそうである。

4月には芽が出ていないが、5月と共に芽を吹き、急に枝を出し葉を茂らしてゆく。毎年新しい枝を剪定されても、また長い枝を出して先端に花を付ける。

百日紅という名前も良くできている。6月の末から咲き出して、ほぼ100日、夏を通して紅の花を付け続けてくれる。花の乏しい季節に長く彩りを添えてくれる木である。

学名は Lagerstroemia indica で、ミソハギ科サルズベリ属である。江戸時代にはすでに日本に渡来していた。

MESSAGE Y' S MEN' S CLUB

新年度のスタートですね。楽しい一年になりますように!!坂口さんよろしくお祈いします。

山口ワイズ

坂口会長の標語：楽しい奉仕、楽しい談話で卓話等を通じ魅力的な例会で沢山のビジターを来ていただいて、会員増強に繋げて行けたらと思いました。

樋脇ワイズ

坂口会長のキックオフ例会おめでとうございします。楽しいクラブ活動をして参りましょう。

YMCAのチアの皆さんのご活躍はお見事です。

中堀ワイズ

坂口会長、大変でしょうがよろしくお祈いします。

徳田ワイズ

8 Regular meeting
定例会

日時 平成29年8月22日 火曜日
 会場 ジェイドガーデンパレス
 司会 小園ワイス
 書記 園屋ワイス

1 開会点鐘	坂口会長
2 ワイズソング	全員
3 会長挨拶	坂口会長
4 ゲスト・ビジター紹介	ゲスト 小田哲也 九州部部长
	ゲスト 能地宏明 九州部書記
	ゲスト 布田悟 熊本クラブ会長
	ビジター 龍野昭夫氏
5 食前感謝	園屋ワイス
6 食事	
7 諸報告	
① 鹿児島YMCA報告	新内ワイス
② 企画例会報告	坂口会長
③ その他	
8 卓話「若者の将来に向けて」	小田哲也 九州部部长
9 ハッピーアニバーサリー	樋脇ワイス 坂口ワイス
10 YMCAソング	全員
11 なごりはつきねど	全員
12 閉会点鐘	坂口会長

今月の聖句

キリストの言葉が
 あなたがたの内に豊かに
 宿るようにしなさい。
 (コロサイ3:16)

8 Planning meeting report
企画例会報告

日時：平成29年8月7日 月曜日
 19:00~21:00
 場所：ZAZA色舞伎
 出席者：山口、神村、園屋、徳田、
 坂口、松若、尾崎、松永

7 Regular meeting report
定例会報告

日時：平成29年7月25日 火曜日
 場所：ジェイドガーデンパレス
 出席者：14名
 司会者：徳田ワイス

7月例会の記録

クラブ在籍者	14名
出席者	13名
メネット	1名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
7月出席率	92.9%

7月合計金額 **¥13,831**

献金有難う
 もしやげもす。

行事予定

9月企画例会	9月定例会
日時：9月11日 月曜日 19:00~21:00	日時：9月26日 火曜日 19:00~21:00
場所：珈琲館かみむら	場所：ジェイドガーデンパレス

鹿児島ワイズメンズクラブ

チャータ ▶ 1990年2月12日
 事務所 ▶ 〒890-0056 鹿児島県鹿児島市下荒田3丁目43-7 1F 鹿児島YMCA内
 定例会 ▶ 毎月第4火曜日 場所：ジェイドガーデンパレス
 企画例会 ▶ 毎月第2月曜日 場所：珈琲館かみむら (時間は企画例会・定例会とも19:00▶21:00まで)